



# 北光だより

児童養護施設  
北光学園  
〒099-0702  
北海道紋別郡遠軽町  
生田原伊吹46番地3

「一生懸命生きる」

園長 堤 茂樹

新型コロナウイルスの感染が日本中に広まり、北海道そして遠軽町もその例外ではありませんでした。このような状況の中で、国、道、町などの行政機関、町内外の会社や団体、一般の方々から、たくさんの方々がマスクや消毒液、お菓子、飲み物等を届けていただき、心から感謝申し上げます。マスクや消毒液については、入手困難となった時期があり、本当に助かりました。お菓子や飲み物等は、学校が長期間休みになった子どもたちにとって、とても嬉しいプレゼントになりました。本当にありがとうございました。

さて、学園にマスクと消毒液など

を送っていただいた団体の一つに、NPO法人「アジアチャイルドサポート」があります。このNPO法人は、国際協力ボランティア団体で、アジアの貧困に苦しむ子どもたちを支援する活動をしています。この団体の代表は池間哲朗さんと言い、映像制作会社の経営者であり、カメラマンでもあります。この方の講演録がマスクや消毒液とともに送られました。

この講演録は、アジアの子どもたちの悲惨な状況を伝えるもので、あまりに衝撃的なものでした。例えば、フィリピンの首都マニラにあるゴミ捨て場では、スラム街に住む子どもたちが、生活のために朝から晩まで、

## 学園目標

「心」、「体」、「行」の調和がとれ、心豊かでたくましく生き抜く子供を育てる。

アルミ缶や瓶、プラスチックなど換金できる物を探しています。食事は満足に食べることが出来ず、学校にも行くことも出来ません。子どもたちの中にはブルトナーに巻き込まれたり、裸足で歩いて足を切り、そこから病原菌が入って、亡くなる子どもが少ないということです。15歳まで生きる子どもは3人に1人で、小学6年ぐらいの女の子に「あなたの夢は何ですか。」と聞くと、「私の夢は大人になるまで生きること」と悲しそうな笑みを浮かべて答えたそうです。

モンゴルの首都ウランバートルには、マンホールで暮らす「マンホールチルドレン」と呼ばれるホームレ

スになった子どもたちがいます。モンゴルの冬は寒さが厳しく、外では死んでしまいます。マンホールには暖房用のお湯が通っていて暖かいため、そこで生活しているのです。1990年代にソ連が崩壊し、その影響でソ連からモンゴルへの無償援助がなくなり、モンゴル経済が壊滅的打撃を受けました。街に失業者が溢れ、家族が餓死するほど追いつめられ、その親が子どもを捨てざるを得なくなったのです。この子どもたちもフィリピンの子どもたちと同じです。何日も食べる事が出来なかつたり、学校にも行けません。マンホールに住む12歳の男の子が池間さんに「早く人間を終わりたい。次に生まれるときは人間ではなく、犬になって生まれたい。」と話したそうです。

この他にも、井戸がなく雨水を貯めて飲むしかないミャンマーの人たち、家族のために売られていく12、

13歳のタイの山岳民族の少女たちの話もありました。日本においても、過去には同じような状況に子どもたちが置かれていたことがあります。例えば、太平洋戦争末期には日本の主な都市は空襲で焼かれ廃墟となりました。戦争で親を失った子どもたちが街に溢れ、餓死する子どもも多数いました。諸外国の援助もあって、日本は驚異的なスピードで立ち直り、今日の豊かさを手に入れることが出来ましたが、池間さんは「日本人こそアジアの子どもたちから学んで欲しい。」「絶望的とも言える貧困の中でも、アジアの子どもたちは決して笑顔を失うことなく懸命に生きていました。彼らの必死になって生き抜く姿こそ、私たち日本人に命の尊さ、真剣に生きることの大切さを伝えると信じています。」と話します。

生きていくこと、食べ物があること、学校へ行くことは、実は当たり前前のことではありません。日本の子

どもたちは、豊かさの中で当たり前のことと錯覚し、有り難いと思う「感謝の心」を失ってしまいました。池間さんは「有り難いと思うから大切にします。大切だから一生懸命になります。感謝こそ生きる力です。」と言います。そして、ボランティアにとつて一番大切なこととして、「一生懸命生きること」を挙げます。「一生懸命に生きる人だから自分の命も他人の命も尊いと思います。真剣に生きる人だから相手の痛みや悲しみも胸に伝わってくるのです。」という池間さんの言葉を、私たちはもう一度噛み締める必要があります。まず、私たち大人が一生懸命生きなければなりません。そして、子どもたちにも今当たり前だと思っていることが決して当たり前でないことを知らせ、感謝の気持ちをもって日々一生懸命生きることを大切さを教えていかなければならないと強く思いました。

「里親支援専門相談員となって」  
里親支援専門相談員 米内山 仁

今年度四月より、里親支援専門相談員として七年ぶりに北光学園へ戻って参りました。入職当初は地域小規模児童養護施設のきずなホームに配属され、家庭的環境の中、子ども達と寝食を共にする中で養育の基本を叩き込まれました。その後、北光学園の事務職を経て、同法人内にある障害者の生活介護施設にて七年間勤めましたが、最初は戸惑うことも多くあり、北光学園が恋しくなることもありました。しかし、利用者の方々の温かさや純粋さに励まされると共に、発達障がいや自閉スペクトラム症への支援の方法や在り方を学んでいくうちに、その仕事のやりがいや覚悟、意欲も増していた矢先ではあったのですが、堤園長より「里親専門相談員として北光にもどらな

ありませんが、自分の福祉を志した原点はやはり北光にあると日頃より思っていたこともあり、戻ることを決意し異動して参りました。四月より早四ヶ月が経過しましたが、新型コロナウイルス禍の中で未だ十分な活動は出来ていません。最近になり、ようやく北光学園の家庭生活体験事業（ショートステイ）の委託里親のお宅へご挨拶を兼ねて訪問をさせて頂いたところでした。今回、私が任命された里親支援専門相談員の役割は、単にショートステイの連絡調整だけではなく、里親の皆さんが日頃抱えている養育の一助となり、里親の皆さんと心配事や悩み事、または喜びや楽しみを共有することにあります。社会的養護を必要とする子ども達への支援は、施設も里親の方々も同じ枠組みの中での支援であります。その違いの大きさを、今、痛切に感じると共に、我が子同然に自分の家庭の中で昼夜を問わず養育に励んで

いる里親の皆さんには頭が下がるばかりです。

しばらく児童養護から離れていた身ですが、障がい者支援で得た経験や知識は、昨今「むずかしい子」と言われてしまう子ども達の子育てに役立てることが出来るのではと思いますので、それらを活かしながら里親の皆さんの力に少しでもなればと思っております。また、里親の皆さんから苦労話や子育ての喜び等を伺いながら、私自身成長出来ればと思っておりますので、訪問させて頂いた際には、たくさんのお話をお聞かせ頂ければ幸いです。新型コロナウイルス禍の規制が解け、早く里親の皆様にお会い出来ることを期待しておりますので、訪問した際はどうぞよろしくお願い致します。

最後になりますが、七年ぶりに戻ってきた私を以前と変わらず受け入れて下さった関係者の皆様には、心より感謝を申し上げます。今後とも、

更なるご指導ご鞭撻の程よろしくお  
願い致します。

### ■ホームの紹介

「かえでホーム」

リーダー 小六 R・K

小学校三年生から六年生まで九人の個性豊かなメンバーで構成されています。それぞれ何かしらのおもちゃを持っていて、持ち寄ってきては自然と遊んでいます。また、漫画やアニメが好きな所や、ゲームやカードゲームを好んで毎日がとてもぎやかです。

臨時休校中はずっと学園にいましたが、自由時間でゲームができたことが良かったです。それでも、ずっと学校に行きたかったので、臨時休校がもうないと良いです。

「しらかばホーム」

リーダー 高二 N・S

小学生2名、中学生3名、高校生4名の楽しく遊園地みたいなしらかばホームです。高校生は静かで、いつもホームを引っ張っています。中学生はスポーツが好きで、小学生に負けないくらい元気です。そして、トラブルメーカーでライバル意識の高い元気な小学生2名です。いつも元気が良すぎてうるさいくらいですが、やる時にはやり、メリハリのあるホームです。

コロナウイルスの影響で休校になった時には、学校からもらった宿題をやり、時間がある時は体育館で体を動かしてリフレッシュをしながら生活をしていました。

夏休みが短くなりましたが、また学校に通えるようになったので頑張りたいと思います。

「ひまわりホーム」

リーダー 中三 K・Y

ひまわりホームは、9名中7名が小学生、2名が中学生のホームです。みんな仲の良い、元気なホームです。

コロナで外出できない中、体育館を映画館にした「北光映画館」での映画鑑賞がありました。天気の子や二ノ国、ジューマンジなど幅広い映画を鑑賞しました。中でも天気の子が一番鑑賞したかったので、嬉しかったです。他にもスイッチでのゲーム大会などがありました。外出等自粛する中でも充実した日々でした。また色々な映画鑑賞をしたいと思います。

「ひめゆりホーム」

リーダー 高三 K・O

私たちひめゆりホームはよく食べる高校生だけのホームです。よく食

べるだけに休校中は施設の裏山に山菜取りに行ってきた。ホームの近くにイラ草という天ぷらにするとおいしい山菜を教えてもらってから、ホームには山菜ブームがおこり山菜取りに連れて行ってもらいました。ごみやフキ等をたくさん、たくさん採りました。それをみんなで調理して、みんなで食べました。とっても美味しかったです。

「きずなホーム」

リーダー 中二 N・K

私は四月からきずなホームのリーダーになりました。今年も昨年同様、楽しく明るいきずなホームを目指して新年度を迎えましたが、十日程でコロナウイルスの感染防止のため学校は休校になってしまいました。長い休校でしたが決してマイナスばかりではありませんでした。

起きてから寝るまで1日中六人が常に一緒に生活しているので大変なこともありました。みんなでテレビを観たりトランプや人生ゲームで遊ぶ機会が増えました。又、毎日みんなで行く神社の階段(百十六段)を三往復した後、福祉センター前広場で30分程自転車に乗って、いい汗を流したのもコロナ休校中にできたきずなホームのコミュニケーション作りでした。

一番の思い出は、きずなホームの敷地内にキャンプ用のテントを張ってその中で本を読んだり、おやつを食べたり、昼寝をしたことです。どこにも外出はできませんでしたがホームの中で楽しめることをみんなで考え、コロナ休校をようやく乗り越えることができました。

今は普通の生活に戻りましたが、あの長い休校を乗り切ることができたことはリーダーとしてホームの皆に感謝しています。

「登山招待」

中三 S・T

7月25日、いつもお世話になっている小田島さんより網走に招待して頂き、藻琴山に行ってきました。

山はハイキングコースと聞いていましたが、思っていたよりハードでした。でも、頂上まで登ることができたので良かったです。頂上では景色がとても綺麗で、とても感動しました。下山中は登っているよりも楽で、スラスラと下れました。下山後、硫黄が出て煙が出ている山を遠くから見に行った時、温泉卵のような硫黄のにおいが車の中に充満して良い香りでした。

登山をする機会がなかったので、とても良い経験になりました。機会があればまた是非参加したいです。

小田島さん、招待して頂きありがとうございます。ありがとうございました。

感謝申し上げます

(四月一日～七月三十一日)

【寄附・寄贈等】

森良子様(北見市)、(有)ダスカジヤパンクアウテモック様(茨城県)、門司一徹様(東京都)、(株)ながさわ様(美幌町)、藤田智美様(旭川市)、アキュート 榎めぐみ様(遠軽町)、Total Fashion TAD A様(置戸町)、株式会社ホリ 代表取締役社長 堀安規良様(砂川市)、行幸恵様(北見市)、戸田建設株式会社札幌支店様(札幌市)、黒川新二様(札幌市)、ウメダスポーツ様(遠軽町)、株式会社青池鉄工様(生田原)、伊達直人様、片岡理恵様(北見市)、ノースキング様(生田原)、認定NPO法人アジアチャイルドサポート様(沖縄県)、(株)たかくら新産業商品センター代表取締役社長 高倉健様(埼玉県)、北海電建(株)様(遠軽町)、(有)橋本建設 橋本政司様(遠軽町)、田中雄一様(訓子府町)、(株)だいい

ち様(遠軽町)、長谷川清様(生田原)、(株)フレールベル館出版本部様(東京都)、日本航空北見支店様(北見市)、太田好子様(生田原)、ミルクランド北海道事務局様(札幌市)、コカコーラ様、生田原学校給食センター様(生田原)、遠軽町地区広域組合消防署 生田原出張所様(生田原)、ヘアモードスタイル 大江一恵様(遠軽町)、共立製薬株式会社代表取締役社長 高居隆章様(東京都)、自衛隊旭川地方協力本部遠軽地域事務所様(遠軽町)、遠軽町役場様(遠軽町)、小縄久司様(弟子屈町)、佐藤敬子様(豊富町)、株式会社ホッコン代表取締役社長 芳賀俊輔様(深川市)、酒井三恵様(北見市)、ノースキング 杉本一幸様(生田原)、寺町由照様(訓子府町)、小島勝弘様(浦幌町)、鈴木哲也様、洋子様(湧別町)

■行事予定

◇九月

二日(水) 職員会議

(小三・四)見学旅行

三日(木) (中)前期末テスト

～ 四日

七日(月) (遠)前期期末考查

～ 九日

九日(水) 職員会議・給食会議

一〇日(木) (中三)学力テスト

一三日(日) 日中想定避難訓練

一六日(水) 職員会議

一七日(木) (紋二)宿泊研修

～ 一八日

二〇日(日) (遠)体育祭

二二日(水) 生田原神社例大祭

二六日(土) 職員会議・ケース会

二九日(火) ふれあい・家庭通信

(小二)見学学習

【一般寄附金】

遠軽厚生病院北厚労遠軽分会様(遠

三〇日(水) (小中遠)前期終業式

職員会議

◇十一月

四日(水) 職員会議

八日(日) 日中想定避難誘導訓練

九日(月) (中)全校参観日

一日(水) (中)学力テスト

職員・給食会議

二日(木) (小五)見学学習

一八日(水) 職員会議

二〇日(金) 特学合同運動会

二五日(水) 職員・ケース会議

(遠)後期中間考査

二八日(日) ふれあい・家庭通信日

◇十二月

二日(水) 職員会議

(中三)学力テスト

九日(水) 職員・給食会議

一〇日(木) (小)たたら校園まつり

一日(金) (中)せせらぎ発表会

一六日(水) 職員・ケース会議

二三日(水) クリスマス会(未定)

二四日(木) 大掃除期間 二九日

二六日(土) ふれあい・家庭通信日

三一日(木) 年越しの会

◇一月

一日(金) 正月日課 五日

二日(火) スキーツアー

二三日(未定)

一四日(木) 湯浅文治園長命日

修祓式

一六日(土) 夜間想定避難訓練

一八日(月) (中遠紋)始業式

二〇日(水) (小)始業式

職員会議・給食会議

二二日

三〇日(土) ふれあい・家庭通信日

三〇日(水)

(小中遠)前期終業式

◇十月

一日(木) (中)後期始業式

十五夜お月見

二日(金) (小)後期始業式

三日(土) (遠)マラソン大会

五日(月) (遠)振替休日

六日(火) (遠)学期間休業

七七日

七日(水) 職員会議

八日(木) (遠)後期始業式

一二日(月) (紋二)現場実習

一四日(水) 職員・給食会議

一五日(木) 故横山園長命日

(中三)学力テスト

一八日(日) 総合訓練

二一日(水) 職員会議

二八日(水) 職員・ケース会議

三一日(土) ふれあい・家庭通信日



○新型コロナウイルスの影響により、北光祭り、ふれあい交流会は中止

とさせていただきます。来年は開催できることを願っております。行事予定に掲載されていても、中止や延期等変更の場合があります。何卒宜しくお願い致します。

○次号の発行は1月頃を予定しております。

【基本理念】

親の心で子どもの自立支援  
【ホームページ】

<http://www.hokkougakuen.jp>

子ども家庭支援センターオホーツク  
電話 0158-45-3211  
メール kodomo\_ks.ohotsuku@wine  
plala.or.jp  
相談料無料。匿名でも結構です。

北光学園在園数

(八月一日現在)

合計	その他	高校生	中学生	小学生	幼児	
18	0	4	3	11	0	男子
17	0	8	2	7	0	女子
35	0	12	5	18	0	合計

【定員】  
四〇名

地域小規模児童養護施設在園数

(八月一日現在)

合計	その他	高校生	中学生	小学生	幼児	
0	0	0	0	0	0	男子
6	0	1	2	3	0	女子
6	0	1	2	3	0	合計

【定員】  
六名